7月から8月はほぼ毎日のようにプールに入ってきました。担任の予想以上にプール遊びを楽しんでいた子どもたちでしたが、中には周りに圧倒され水しぶきにも一歩引いてしまう子もいました。Aちゃんもその1人です。他の子が思い切ってテーブルや台からジャンプする中、隅にとどまっていたり、水しぶきを避けるようにそっとその輪から離れていく姿もありました。その中で、みんなが飛ぶ姿を見ながら「どうしよう…行ってみようかな?」と悩みながら順番を待ったり、飛ぶ時も自分でタイミングをはかりながら、でも一歩が踏みだせない姿がありました。保育者と一緒に飛んだ経験や、高藤する姿を励まし、時には背中を押してみたりと関わる中で、プール参観日(後)では自らジャンプする姿へと変わりました。こわいけどやってみたいと気持ちが動いたからこそだと思い、うれしく感じました。飛び終わったAちゃんはまだドキドキが残っていることと、できたうれしさが入り混じった表情を浮かべていました。子どもたちがこの2カ月プールで経験したことが、次の新しいことに挑戦する姿へとつながっていってほしいなと思います。

川あそび行ってきました

前日の夜には雨が降りましたが、思ったより水量の影響もなく、予定通り川あそびを実施しました。自然の川は水の冷たさや浅い所、深い所、流れなど変化に富んでおり、子どもたちは圧倒されたのか、おっかなびっくりで川に入っていました。また、ライフジャケットをつけていますが、プールとは違う環境に戸惑っている子もいました。しかし、保育者に誘われて一緒におそるおそる深い所や流れに身を任せてみると、浅くなっている所もあり足がついたら意外と大丈夫で「もっかいやる!」とやりにくる子も出てきました。また力エルやカニ、ヤゴなど小さな虫も見つかり夢中になって探したり、網や棒を使って水の中ものぞき、魚との追いかけっこをしていました。休けいを入れながらあそびましたが、だんだんとその時間も惜しいぐらいに、「もう休けい?」「もう終わりなの?」と期待に満ちた表情で聞いてくる子どもたち。岩からのジャンプに挑戦する姿も広がっていました。自然に触れ、それ以上に子どもたちがプールで遊んできたことを土台にし、自分のものにして遊んでいく様子に子どもたちの成長を感じました。

昼食は梅干おにぎりを食べました。実は梅干が「酸っぱいから イヤ」「食べられない」との話も聞いていました。しかし、いっぱい遊んだ分、「(おにぎり)まだ?」「もうおにぎり食べたい」と待ちきれない様子で遊びの途中何度も聞くぐらいだった子どもたちです。もちろん、みんなモリモリ食べていましたよ。

のぼり棒

園庭では遊具で遊んだり、吊り輪にぶら下がって遊ぶ中で、近くにある遊具を支える柱を登っていく遊びが盛り上がっています。柱は太いパイプ状(太ももでちょうど挟みやすいようです)ですが、これが意外と子どもたちにとっては登りやすいようで、いつの間にか上の方まで行く子も出てきました。登るためには、腕の力、足の指の力など色々な動きを合わせないとできません。「見てて!」と一人がやる姿を見ると、他の子もやってみたいと刺激を受け、その輪が広がってきています。この前遊具に登った時には登り棒にも挑戦し、柱とは太さ・長さの違いに難しさを感じつつも、担任に手伝ってもらいながらやってみようとする姿や上でとどまりセミのように鳴いてみる子もいました。ちょっと難しいけど挑戦したり、友達と一緒に身体を動かしてあそぶのおもしろさも感じられるような保育にしていけたらと思います。

○プール終わりましたがまだまだ暑い日は続きます。シャワーもあるのでタオルは毎日持ってきて下さい

(足立)